

12月15日に開催された「防災フォーラム2019」において、過去の大地震（阪神・淡路大震災、新潟県中越地震、東日本大震災、熊本地震）の被災地からの声「あのとき役立った私の知恵」を20点掲示し、区民の皆さんから“参考になった”と思うものにシールを貼っていただきました。【投票の条件は、お一人様1回、1点につきシール1枚、最大5点までです】

その結果は以下のとおりでした。投票いただいた皆様、ご協力ありがとうございました。なお、掲載した20点は、東京臨海広域防災公園の〈そなエリア東京〉の2階に掲示されていたものの中から荻窪地域区民センターが選抜しました。

大震災被災者の声「あのとき役立った私の知恵」TOP10

- 1 助けを求めるときは、声を出すより物をたたいた方が音が響いて伝わる【阪神 32票】
- 2 懐中電灯や携帯ラジオは、ベッドや枕元に固定しておく。大きな地震では5メートルくらい飛んでいく【阪神 26票】
- 3 日常飲んでいる薬の説明書は必ず身に付けておくといい。薬をもらう時に必要になる【東日本 23票】
- 4 簡易トイレを用意しておく。女性、特に妊婦さんには仮設トイレは厳しい【中越 20票】
- 5 カップめんめんの容器は食器代わりになる。ラップを敷いて使えば洗わずに何度も使える【阪神 18票】
- 6 近所の人たちと声を掛け合い、食料や毛布を分け合った。地域の人とのつながりは大切【中越 16票】
- 7 新聞紙は座布団にもなる。寒いときは体にかかけたり、風呂敷代わりにもなる【東日本 12票】
- 7 備蓄物資の中では、高齢者用の紙パンツが足りなかった。これからは、子ども用おむつより数が必要【熊本 12票】
- 7 あれば便利なのは太めのろうそく。乾電池は意外と早くなくなる【阪神 12票】
- 10 乾電池の予備は必ず防災用品に入れておくこと。重宝した【阪神 11票】
- 10 風呂に水を汲んであった。水が出ないので助かった【東日本 11票】

以上